



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月27日

上場会社名 クボテック株式会社
 コード番号 7709 URL <http://www.kubotek.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史

TEL 06-6443-1815

四半期報告書提出予定日 平成30年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	450	17.5	126		130		133	
30年3月期第1四半期	383	53.8	106		109		112	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 101百万円 (%) 30年3月期第1四半期 98百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	9.67	
30年3月期第1四半期	8.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	4,019	1,125	28.0	81.72
30年3月期	3,848	1,227	31.9	89.13

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 1,125百万円 30年3月期 1,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	800	49.2	250		260		35		2.54
通期	3,000	8.1	100	48.9	90	50.9	320	160.9	23.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	13,830,000 株	30年3月期	13,830,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	62,159 株	30年3月期	62,159 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	13,767,841 株	30年3月期1Q	13,767,841 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、通商問題、海外経済の不確実性等から先行きに不透明感が残るものの、緩やかな回復が続きました。液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ(FPD)の分野におきましては、FPDメーカーの設備投資は順調に推移しておりますが、一部に慎重な動きが見られました。

このような環境の中、当社グループでは、製品開発、販売拡大により事業基盤の強化を図ってまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高450百万円(前年同四半期比17.5%増)、営業損失126百万円(前年同四半期は営業損失106百万円)、経常損失130百万円(前年同四半期は経常損失109百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は133百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失112百万円)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上はほぼ前年並みとなりました。この結果、売上高は275百万円(前年同四半期比6.1%増)、セグメント損失は128百万円(前年同四半期はセグメント損失127百万円)となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」の売上が伸び悩みました。この結果、売上高は86百万円(前年同四半期比7.5%減)、セグメント損失は6百万円(前年同四半期はセグメント利益14百万円)となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置の売上が増加しました。この結果、売上高は88百万円(前年同四半期比194.6%増)、セグメント利益は6百万円(前年同四半期はセグメント損失1百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ170百万円増加しました。流動資産は現金預金の増加211百万円、売上債権の減少70百万円、棚卸資産の増加66百万円などにより、159百万円増加しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ272百万円増加しました。流動負債は短期借入金の減少62百万円、未払法人税等の減少25百万円などにより、137百万円減少しました。固定負債は長期借入金の増加などにより、410百万円増加しました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失133百万円の計上などにより、純資産合計が101百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月24日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,099,414	1,310,482
受取手形及び売掛金	1,216,793	1,236,446
電子記録債権	97,034	6,471
商品及び製品	14,236	43,335
仕掛品	265,701	305,339
原材料及び貯蔵品	112,524	110,393
その他	100,626	53,013
貸倒引当金	△21,639	△21,684
流動資産合計	2,884,693	3,043,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	191,429	190,718
土地	558,514	558,514
その他(純額)	36,165	35,094
有形固定資産合計	786,109	784,327
無形固定資産		
ソフトウェア	147,036	161,529
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	149,322	163,815
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,772	1,021
その他	106,187	104,427
貸倒引当金	△79,360	△77,724
投資その他の資産合計	28,598	27,724
固定資産合計	964,029	975,867
資産合計	3,848,723	4,019,664
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,669	473,688
短期借入金	1,391,000	1,328,500
未払法人税等	30,730	4,926
賞与引当金	16,070	8,416
関係会社整理損失引当金	30,032	30,032
その他	370,642	334,444
流動負債合計	2,317,144	2,180,007
固定負債		
長期借入金	246,000	654,000
繰延税金負債	5,187	5,148
退職給付に係る負債	49,571	50,357
その他	3,725	5,012
固定負債合計	304,484	714,518
負債合計	2,621,628	2,894,525

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△679,148	△812,260
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	1,190,883	1,057,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△355	△466
為替換算調整勘定	36,566	67,832
その他の包括利益累計額合計	36,211	67,366
純資産合計	1,227,094	1,125,138
負債純資産合計	3,848,723	4,019,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	383,260	450,503
売上原価	280,761	349,825
売上総利益	102,499	100,677
販売費及び一般管理費	209,498	226,859
営業損失(△)	△106,998	△126,181
営業外収益		
受取利息	25	21
受取配当金	280	45
受取賃貸料	277	277
その他	65	54
営業外収益合計	648	398
営業外費用		
支払利息	2,795	3,139
為替差損	136	1,297
その他	4	-
営業外費用合計	2,936	4,437
経常損失(△)	△109,286	△130,221
税金等調整前四半期純損失(△)	△109,286	△130,221
法人税等	3,022	2,890
四半期純損失(△)	△112,309	△133,111
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△112,309	△133,111

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△112,309	△133,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	299	△110
為替換算調整勘定	13,046	31,265
その他の包括利益合計	13,345	31,154
四半期包括利益	△98,963	△101,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△98,963	△101,956
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	259,411	93,851	29,998	383,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,764	6,514	13,392	55,671
計	295,175	100,365	43,391	438,932
セグメント利益又は損失(△)	△127,142	14,748	△1,762	△114,156

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△114,156
セグメント間取引消去	2,351
内部利益の調整額	△5,145
貸倒引当金の調整額	9,951
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△106,998

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	275,327	86,798	88,378	450,503
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,363	3,306	12,817	31,487
計	290,690	90,104	101,196	481,991
セグメント利益又は損失(△)	△128,058	△6,144	6,534	△127,668

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

損失	金額
報告セグメント計	△127,668
セグメント間取引消去	1,326
内部利益の調整額	△2,472
貸倒引当金の調整額	2,632
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△126,181

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社は、平成30年7月24日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産を譲渡することを決議し、同日付で不動産売買契約を締結いたしました。

1. 譲渡の理由

当社は資産の有効的活用及び財務体質の改善を図るため保有資産の見直しを行い、京都第三工場の土地及び建物を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益	現況
京都市南区東九条西河辺町23番地 土地 1,524.66㎡ 建物 1,116.66㎡	564百万円	254百万円	310百万円	京都第三工場

(注)譲渡益は譲渡価額から帳簿価額と譲渡に係る諸費用を控除した概算金額を記載しております。

3. 譲渡先の概要

(1)名称	株式会社プレサンスコーポレーション
(2)所在地	大阪市中央区城見1-2-27 クリスタルタワー27F
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 山岸忍
(4)事業の内容	新築マンションの分譲・販売、マンション土地の売買及び仲介、その他
(5)資本金	1,973百万円
(6)設立年月日	平成9年10月1日
(7)当社との関係	特筆すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。 また、当社の関連当事者には該当しません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議	平成30年7月24日
契約締結日	平成30年7月24日
引渡日	平成30年9月14日(予定)

5. 当該事象の連結損益に与える影響額

当該固定資産の譲渡により、平成31年3月期第2四半期に固定資産売却益約310百万円を特別利益として計上する予定であります。